

授業科目名	現代社会と人間			科目コード	X511-10				
科目区分	教養科目 - 教養科目 - 人文科学系		担当教員名	大森 聡					
実務経験									
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目									
資格等 取得との関連	なし								
授業の概要	各学科教員・外部講師が各回の講義を担当し、目的について共通理解を図りつつ、オムニバス形式で開講する。詳細は添付資料を参照のこと。 Webシラバスの毎回の授業アンケートへの入力をもって出席とします(当日18:30ㄨ切)。未提出の場合は欠席扱いとなるので注意すること								
学習目標	総合短期大学である本学の特徴を活かし、現代社会における地域課題と密接につながる「食と健康」、「子どもと保育」、「情報と経営」、「福祉と健康」の各分野、その他現代社会と地域を理解するのに役立つ幅広い事柄を自らの専攻とは異なる学生と共に学習することによって、地域を理解し、地域について自ら考えられる幅広い視野と豊かな人間性を養うことを目的とする。								
キーワード	文理融合								
テキスト・ 参考書等	講師によっては、授業前に資料を配付する。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	現代社会と地域を理解し、地域について自ら考えられる幅広い視野と豊かな人間性を養うための方法を身につけている。								
LO-2	現代社会と地域を理解し、地域について自ら考えられる幅広い視野と豊かな人間性を養うための技能を身につけている。								
LO-3	現代社会と地域を理解し、地域について自ら考えられる幅広い思考力・判断力・表現力を持ち、実践的な展開や課題解決することが出来る。								
LO-4	地域について自ら考えようとする意欲があり、実践的な展開や課題解決方法について主体的に学びを深めることが出来る。								
LO-5	地域社会の一員であることの自覚を持ち、他者を尊重し、協力・協働を図る人間性を有している。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	60		40						100
LO-1	12		8						20
LO-2	12		8						20
LO-3	12		8						20
LO-4	12		8						20
LO-5	12		8						20
備考	毎回の振り返りアンケート(20%)、最終回のレポート(20%)、期末の筆記試験(60%)の内容を、LO1・LO2・LO3・LO4・LO5それぞれの観点で総合的に評価する。なお、追再試験は実施しない。  レポート課題について								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション(スマートフォンもしくはノートパソコンを毎回持参すること) 経営情報学科 准教授 山下 裕介	
	【予習】タイトルに関連があると思われる新聞記事・雑誌等を読んでおく。	90分
	【復習】講義内容をまとめる。分からなかった単語等を辞書・書籍・インターネット等で調べる。	90分
第2回	食物栄養学科 准教授 伊藤 陽子 「腸内環境と健康の関係」	
	【予習】タイトルに関連があると思われる新聞記事・雑誌等を読んでおく。	90分
	【復習】講義内容をまとめる。分からなかった単語等を辞書・書籍・インターネット等で調べる。	90分
第3回	レインボーハート富山代表 佐脇 宏史	
	【予習】タイトルに関連があると思われる新聞記事・雑誌等を読んでおく。	90分
	【復習】講義内容をまとめる。分からなかった単語等を辞書・書籍・インターネット等で調べる。	90分
第4回	春山 然浩 弁護士 「悪質商法撃退講座」	
	【予習】タイトルに関連があると思われる新聞記事・雑誌等を読んでおく。	90分
	【復習】講義内容をまとめる。分からなかった単語等を辞書・書籍・インターネット等で調べる。	90分
第5回	富山短期大学 学長 高木利久	
	【予習】講師についてプロフィール等をしらべ、関連しそうな新聞記事・雑誌等を読んでおく。	90分
	【復習】講義内容をまとめる。分からなかった単語等を辞書・書籍・インターネット等で調べる。	90分
第6回	健康福祉学科 准教授 小椋 一也 「スポーツでイメージされる価値を考える」	
	【予習】講師についてプロフィール等をしらべ、関連しそうな新聞記事・雑誌等を読んでおく。	90分
	【復習】講義内容をまとめる。分からなかった単語等を辞書・書籍・インターネット等で調べる。	90分
第7回	幼児教育学科 教授 四杉 昭康 「富山県の魅力再発見！自分らしい人生を生きるとは。」	
	【予習】タイトルに関連があると思われる新聞記事・雑誌等を読んでおく。	90分
	【復習】講義内容をまとめる。分からなかった単語等を辞書・書籍・インターネット等で調べる。	90分
第8回	総まとめ レポート課題の作成 レポートの作成に必要なものを持参する。	
	【予習】今までの講義内容を「振り返り授業アンケート」で復習し、疑問点や意見をまとめておく。	90分
	【復習】今までの講義の中での疑問や不明点は調査し、まとめてレポートとして仕上げる。 期末のレポートは課題1にアップロードする。	90分

授業科目名	食生活論			科目コード	F111-10				
科目区分	専門科目 - 栄養士専門基礎科目 - 社会生活と健康		担当教員名	大森 聡					
実務経験									
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)	高等学校卒業程度の家庭科の知識		後継科目	公衆栄養学 ・ 、社会福祉論					
関連科目									
資格等 取得との関連	栄養士免許・栄養教諭二種免許の各資格に必須								
授業の概要	栄養士の資格について、時代の移り変わりや栄養士の役割、栄養素の働きや体の構造、科学用語や実験器具など、専門科目を学ぶ前に覚えておくに役立つ基礎知識などを開設する。								
学習目標	栄養士・管理栄養士の歴史を踏まえ、健康であるための適切な栄養摂取の方法を考える能力を培うことを目標とする。								
キーワード	初年次教育 導入教育								
テキスト・ 参考書等	めざせ！栄養士・管理栄養士 まずはここから・ナビゲーション 第一出版								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	栄養士・管理栄養士について理解できる。								
LO-2									
LO-3									
LO-4	栄養士の取り巻く環境について理解し、生涯にわたり学ぶ姿勢がみられる。								
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	70		30						100
LO-1	60		30						90
LO-2									
LO-3									
LO-4	10								10
LO-5									
備考	レポート課題については、チェックの後、学生からの要望があれば返却する。								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 栄養士・管理栄養士とは、職業倫理について理解する。	
	【予習】シラバスを読み、講義の内容や目的を抑えること。 テキストの始めからP.12まで目を通しておく。	60分
	【復習】わからなかった単語を調べる。	90分
第2回	第1回の振り返り、職業倫理、管理栄養士・栄養士が活躍する職場	
	【予習】テキストの該当するページを読んでおく。	60分
	【復習】わからなかった単語を調べる。	90分
第3回	第2回の振り返り 食生活・食文化の基礎知識について理解する。	
	【予習】テキストの該当するページを読んでおく。	60分
	【復習】わからなかった単語を調べる。	90分
第4回	外部講師の授業	
	【予習】健康と栄養素の関係を調べておく。	60分
	【復習】わからなかった単語を調べる。	90分
第5回	現場で働く管理栄養士・栄養士について（学校給食）	
	【予習】学校給食について調べておく。	60分
	【復習】わからなかった単語を調べる。	90分
第6回	第4、5回の振り返り 栄養士・管理栄養士の活躍する場所	
	【予習】テキストの該当するページを読んでおく。 スポーツ栄養に関わる資格	60分
	【復習】わからなかった単語を調べる。	120分
第7回	現場で活躍する管理栄養士・栄養士（病院）	
	【予習】テキストの該当するページを読んでおく。	60分
	【復習】わからなかった単語を調べる。	240分
第8回	第7回の振り返り 献立作成について、校外実習への心構え	
	【予習】テキストの該当するページを読んでおく。	60分
	【復習】期末課題 全国栄養士大会・オンラインの動画視聴	60分

授業科目名	保育原理			科目コード	C111-10				
科目区分	専門科目 - 保育の本質・目的 - 教育・保育		担当教員名	石動 瑞代					
実務経験									
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目	保育者論 子どもと社会					
関連科目	教育原理 教育課程論 保育内容総論								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格 社会福祉主事任用資格								
授業の概要	保育の特性や保育内容・方法に関する知識を学びながら、保育の基本的考え方を理解する。また、保育思想や歴史、諸外国での保育について学ぶとともに、日本の保育の現状を見つめ、現代の課題とその解決について考える。課題シートやグループ討議等を通して学び、自らの子ども観や保育観の形成につなげていくことをめざす。								
学習目標	保育の意義及び保育の基本理念について理解する。 保育の内容と方法の基本構造を学び、実際の保育場面を通して理解する。 保育の思想や歴史の変遷を学び、現代の保育について考察する。								
キーワード	子ども観と保育観、養護と教育、子どもの最善の利益								
テキスト・ 参考書等	テキスト：『実践を創造する保育原理 第二版』豊田和子編（みらい） 参考図書：『保育所保育指針解説書』厚生労働省編（フレーベル館）、『幼稚園教育要領解説』文部科学省編（フレーベル								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 保育の基本的な事項や制度に関する用語等を理解し、筆記試験で正しく回答することができる。保育の意義を説明することができる。保育の歴史や思想に関する知識を、現在の保育理論と関連づけて理解することができる。								
LO-2	【技能】 保育事例を、保育の基本的視点に沿って読み取ることができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】 保育の基本理念を通して、自らの子ども観・保育観について、考えを深めることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 保育の現状に関心をもち、社会のニーズをふまえた保育のあり方・課題について、自ら考えようとする。								
LO-5	【人間性・社会性】 他者の意見（子ども観・保育観等）を受容し、自らの意見に反映しようとする。自らの保育観や子ども観を、他者に表明することができる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	60	10	20			10			100
LO-1	50	10							60
LO-2	10								10
LO-3			10						10
LO-4			10						10
LO-5						10			10
備考	その他 A は、受講態度とする。 アクティブラーニングの実施：グループワーク、ディスカッション等を実施する。参加時の態度や課題シートの提出状況を受講態度とする。 提出課題に対しては口頭及び紙面にてコメントを行う。小テストは返却、定期試験は模範解答を示す。								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション(授業のねらい、方法、評価等の説明) 保育とは何か - 保育、教育という語が意味する内容を知り、保育の要素をさぐる。	
	【予習】シラバスに目を通し、授業のねらいや内容を確認する。	30分
	【復習】講義内容を教科書第1章で確認する。 資料の言葉から、保育とは何かを改めて考えてくる。	80分
第2回	保育とは何か - 養護と教育の具体的な意味を知る。 保育が養護と教育が一体的に展開されるものであることを理解する。	
	【予習】指定された教科書の部分を読む	45分
	【復習】来週に向けて、!や?の出来事を考えておく(来週の授業で書いてもらいます)	85分
第3回	子ども観と保育観 子ども観の変遷を知る。自らの子ども観をふりかえる。	
	【予習】教科書の第2章を読んでおく	40分
	【復習】課題シートを完成する。 課題 5月末日まで	90分
第4回	子ども観と保育観 子ども観と発達観、保育観の関連について理解する。 グループディスカッション	
	【予習】前回の内容を振り返っておく	40分
	【復習】授業の内容やグループディスカッション、教科書第7章を読んで、子ども観・発達観・保育観について理解する。	100分
第5回	子ども観、保育観、発達観 保育観や保育実践につながる子ども観、発達観の理解	
	【予習】テキスト第7章を読む	60分
	【復習】教科書第7章の内容を保育の目標と関連付けて理解する。	100分
第6回	保育のめざす姿とは 保育所保育指針・幼稚園教育要領・幼保連携型認定こども園教育・保育要領のねらいを理解する。	
	【予習】保育所保育指針第1章総則、幼稚園教育要領 第1章幼稚園教育の基本を読む。	50分
	【復習】指針や要領等にかかれている内容と保育のめざす姿との関連を再確認しておく。	120分
第7回	保育の目指す姿 保育の内容と方法 保育所保育指針・幼稚園教育要領の構造を理解する。保育の内容と方法について知る。	
	【予習】指針や要領、教育・保育要領を読み、目標や目的及び10の姿を再確認する。	50分
	【復習】次回小テストの準備をする。 小テストの内容：第5回に配付した資料の裏面(穴埋め式)の内容+領域について、3つの資質・能力	150分
第8回	小テストの実施 第9回へ 保育の内容 保育の内容を構造的に理解する。	
	【予習】指針・要領の重要語句を再確認しておく。	60分
	【復習】小テストの準備をする 内容 第5回課題シート裏面の穴埋め問題(選択肢あり)。5領域の名前を書く。5領域それぞれの内容を理解しておく。各領域のねらいも確認しておく(教科書p	100分
第9回	小テストの実施 内容は第8回の 復習欄を見てください 保育における場を理解する 保育所、幼稚園、認定こども園の特徴	
	【予習】教科書第3章を読む。	80分
	【復習】課題プリントを完成する。 参考：富山県のホームページで「認可保育所・幼保連携型認定こども園一覧」「私立幼稚園の概要」 各市町村のホームページ	120分
第10回	新しい保育制度について 9.10回のバワボ資料	
	【予習】教科書の指定部分を読む。	40分
	【復習】新しい保育制度について一覧表にまとめる	150分

	保育内容を考える	
第11回	【予習】小テストの準備をする 小テストは12回に実施	100分
	【復習】課題の確認 小テストの準備 参考 保育内容の事例ポイントをまとめる	120分
第12回	小テスト(15分) 保育の歴史と思想 世界及び日本における保育の歴史と思想	
	【予習】テキスト第5、6章を読む。	45分
	【復習】講義内容をまとめる。主要な人物とその背景を整理する。 教科書3、4章を読んで理解する。時間があれば第14章 p 193～を読む	125分
第13回	保育の歴史と思想 倉橋惣三の保育論を中心に、保育者像を考える シュタイナー	
	【予習】資料を読んでおく。 小テストの準備をする	100分
	【復習】資料を読んでおく	180分
第14回	ミニテスト(5分) 保育の思想 教具 シュタイナー 倉橋他	
	【予習】ミニテストの準備をする 資料を読む	100分
	【復習】課題シートを完成させてくる	120分
第15回	現在の保育における課題 基本知識の確認	
	【予習】テキスト第14章『保育をめぐるこれからの課題について』を読む。	40分
	【復習】試験の準備をする。 定期試験の内容 60分 持ち込みなし 小テスト3枚の内容から 選択問題	180分

授業科目名	保育の心理学			科目コード	C121-10				
科目区分	専門科目 - 保育の対象理解 - 心理		担当教員名	嶋野 珠生					
実務経験									
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目	子ども家庭支援の心理学					
関連科目	子どもの理解と援助 教育相談								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	子どもの身体発達、社会情動発達、認知発達、言語コミュニケーション発達等の側面から心理学的知見の基礎を学ぶ。また子どもの学びの過程を理解した上で、よりよい発達を促すために保育者としていかなる援助をすべきかを考える。さらに、障がいを持つ子ども、不適切な養育を受けた子どもの発達についても理解を深め、乳幼児期の発達の多様性と可塑性を学ぶ。								
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保育実践に関わる発達理論等の心理学的知識を踏まえ、発達をとらえる視点について理解する。</li> <li>2. 子どもの発達に関わる心理学の基礎を習得し、養護と教育の一体性や発達に即した援助の基本となる子ども理解を深める。</li> <li>3. 乳幼児期の子どもの学びの過程や特性について基礎的知識を習得し、保育における人の相互的関りや体験、環境の意義</li> </ol>								
キーワード	子どもの身体発達、社会情動発達、認知発達、言語コミュニケーション発達、発達心理								
テキスト・ 参考書等	原口喜充編(2023)「実践に活かす保育の心理学」 ミネルヴァ書房								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	〔知識・理解〕 乳幼児期の発達および学習に関する心理学の基礎的知識が習得できている								
LO-2	〔技能〕 発達に即した援助の基本となる子ども理解を深めるために、子どもを多面的な視点からとらえることができる								
LO-3	〔思考力・判断力・表現力〕 子どもをめぐる今日的課題に対し、学習した知識や経験を結び付けて考えることができ、自分なりの意見を表現することができる。								
LO-4	〔関心・意欲・態度〕 子どもの発達過程に関心を持ち、積極的に授業に参加し、問題意識をもって自ら課題に取り組むことができる。								
LO-5	〔人間性・社会性〕 仲間との積極的な意見交換を行い、協力してグループワークに取り組み、協力して課題達成ができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	40	20	10			30			100
LO-1	20	10							30
LO-2	20	10							30
LO-3			10			10			20
LO-4						10			10
LO-5						10			10
備考	その他Aは、授業中の参加態度(課題への取組態度、発表の態度や表現、グループワーク、ディスカッションへの参加意欲や他者との協力の度合い、自らふり返り思考する力など)を総合的に評価する。レポートはコメントして返却する。答えは採点して返却、模範解答を提示する。								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 発達を学ぶ意義 初回授業赤ちゃんに関するアンケート 初回授業赤ちゃんのイメージに関するアンケート	
	【予習】シラバスを見て授業内容を確認する。 教科書pp.2-13を読んでおく。	20分
	【復習】授業のスライドを見直す。 教科書pp.2-13を復習しておく。 赤ちゃんのふしぎな世界(日本産婦人科医会2018/1019動画)	40分
第2回	子どもの発達と環境	
	【予習】教科書pp.14-26を読んでおく。	90分
	【復習】授業のスライドを見直す。 教科書pp.14-26を読み直し復習する。 アルバート坊やの恐怖条件付けに関する動画YouTube	90分
第3回	発達理論と子ども観・保育観 初期経験の重要性と生涯発達の視点から	
	【予習】教科書pp.27-40と p.7を読んでおく。	90分
	【復習】授業スライドを見直す。 教科書pp.27-40および p.7を読み復習する。	90分
第4回	子どもの発達過程：身体・運動発達 脳のシナプスと神経回路YouTubeについて最初の3分間視聴するとよくわかります。	
	【予習】教科書pp.42-52を読んでおく。	90分
	【復習】課題小テスト1 を行い送信する。 授業スライドを見直す。	90分
第5回	子どもの発達過程：社会情動的発達 発達を支えるアタッチメント	
	【予習】教科書pp.53-66を読んでおく。	90分
	【復習】授業のスライドを見直す。 教科書pp.53-66を読み直し、復習しておく。	90分
第6回	子どもの発達過程：社会情動的発達 自己と感情・情動の発達	
	【予習】教科書pp.67-80を読んでおく。	90分
	【復習】授業スライドを見直す。 教科書pp.67-80を読み復習する。	90分
第7回	子どもの発達過程：社会性の発達	
	【予習】教科書pp.81-93を読んでおく。	90分
	【復習】授業スライドを見直す。 教科書pp.81-93を読み復習する。	90分
第8回	子どもの発達過程：認知の発達 三つ山課題動画 保存概念動画	
	【予習】教科書pp.94-108を読んでおく。	90分
	【復習】小テスト2 を回答して送信する。 授業スライドを見直す。 教科書pp.94-108を読み復習する。	90分
第9回	子どもの発達過程 言語の発達	
	【予習】教科書pp.109-120を読んでおく。	90分
	【復習】授業のスライドを見直す。 教科書pp.109-120を読み復習する。	90分
第10回	発達障害と発達	
	【予習】教科書pp.121-134を読んでおく。	90分
	【復習】授業スライドを見直す。 教科書pp.121-134を読み復習する。	90分

第11回	発達障害と発達 DVD視聴から発達障害当事者世界についての理解を深める	
	【予習】東田直樹オフィシャルサイトを見ておく。 東田直樹「自閉症の僕が跳びはねる理由」をできれば読んでおく。	90分
	【復習】課題 「君が僕の息子について教えてくれたこと」を視聴し、「自閉症の僕が跳びはねる理由」の著者東田直樹さんと自閉症について、以下のレポートを作成する。 授業中に配布されたレポート書式に指定されたテーマでレポートを作成する。	90分
第12回	虐待から考える発達	
	【予習】教科書pp.135-149を読んでおく。	90分
	【復習】授業のスライドを見直す。 教科書pp.135-149を読み復習する。 セーブザチルドレンJAPANサイト	90分
第13回	保育にいかす学習理論	
	【予習】教科書pp.150-163を読んでおく。	90分
	【復習】課題 小テスト3提出。 授業スライドを見直す。教科書pp.150-163を読み直す。	90分
第14回	遊びの発達	
	【予習】教科書pp.164-177を読んでおく。	90分
	【復習】授業のスライド見直す。 教科書pp.164-177を読み復習する。	90分
第15回	乳幼児期の学びの過程と特性、乳幼児期の学びを支える保育	
	【予習】教科書pp.178-202を読んでおく。	90分
	【復習】課題 小テスト4提出 教科書pp178-202を読み復習する。授業スライドを見直す。	90分

授業科目名	教育原理			科目コード	C111-20				
科目区分	専門科目 - 保育の本質・目的 - 教育・保育	担当教員名	四杉 昭康						
実務経験	公立小中学校で教員として38年間勤務した経験を生かし、幼稚園教諭や保育士等の養成に必要な知識や技能等について実践的に指導する。								
開講時期	1年前期	授業の方法	講義						
必修・選択	必修	単位数	2単位						
前提科目(知識)	なし	後継科目	子どもと社会						
関連科目	保育原理 子ども家庭福祉 社会福祉								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格、社会福祉主事任用資格								
授業の概要	本講義では、現代の教育および教師（保育者）の役割や課題を理解し、明確な根拠（教育の基礎理論）を踏まえて議論できるようにすることを目指す。そのために、教育の基礎的な理論・歴史・思想の概説、今日の教育（幼児教育を含む）の論点に関するディスカッション、多様な文献についての意見交流、の3つを軸とした講義をおこなう。								
学習目標	1.教育（幼児教育を含む）の基礎理論・歴史・思想を理解する。 2.小学校以降の教育との連携・協働するために必要な基礎知識を理解する。 3.他者と議論し、自身の教育観を捉え直すことができる。								
キーワード	子ども観、教育観、発達観、教育史、教育思想、教育方法、教育内容、教育課程、教育制度、教育行政、生涯学習、特別支援教育								
テキスト・ 参考書等	『最新 保育士養成講座』総括編纂委員会編（2019）『教育原理（最新 保育士養成講座 第2巻）』全国社会福祉協議会。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	教育（幼児教育を含む）の基礎理論・歴史・思想を獲得し、理解する。								
LO-2	該当しない								
LO-3	小学校以降の教育との連携・協働するために必要な基礎知識を獲得し、理解する。								
LO-4	他者と議論し、自身の教育観を捉え直すことができる。								
LO-5	該当しない								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		30	60			10			100
LO-1		15							15
LO-2									
LO-3		15							15
LO-4			60			10			70
LO-5									
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その他Aはミニツツペーパーによる。</li> <li>・学習過程を振り返りながら講義・ディスカッションに参加できるように、ポートフォリオ（2穴リング式A4ファイル）を準備し、そこに講義で配布する資料、ミニツツペーパー、小レポート等を収めること。</li> <li>・レポート等に剽窃が確認できる場合は単位を不可とする。</li> </ul>								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 講義の内容、方法、評価を概説する。自身の教育体験・教育観を捉え直す必要性を実感してもらう。	
	【予習】シラバスや教科書を眺め、授業内容を把握する。	45分
	【復習】自身の教育体験を踏まえて、教育とは何かについてまとめる（小レポート）。	45分
第2回	教育とは何か 教育の定義を概説し、教育の意義を理解する。	
	【予習】第1章を通読のこと。	90分
	【復習】講義の感想をまとめておくこと。	90分
第3回	教育と家庭福祉 子どもの福祉の基礎となる児童の権利条約、日本国憲法、児童福祉法などを概説し、その理念を理解する。また家庭福祉についても取り上げる。	
	【予習】第2章を通読のこと。	90分
	【復習】配布資料の感想をまとめておくこと。	90分
第4回	諸外国の教育思想と歴史 現在の教育を捉え直すために、過去の諸外国の教育理論・思想および子ども観の変遷について概説し、今後の教育観・子ども観の展望への理解を深める。	
	【予習】第3章を通読のこと。	90分
	【復習】配布資料の感想をまとめておくこと。	90分
第5回	日本教育思想と歴史及び現代の教育制度 日本における教育思想の歴史と現代の教育を取り巻く教育制度および教育法規等を概説する。特に公教育の原則や教育委員会制度、コミュニティスクールなどを理解する。	
	【予習】第4章を通読のこと。	90分
	【復習】配布資料の感想をまとめておくこと。	90分
第6回	教育の実践と展開 教育実践の展開を捉える目標・評価・方法という3つの視点について概説し、それらの視点から就学前教育の実践の特徴について理解する。	
	【予習】第5章を通読のこと。	90分
	【復習】配布資料の感想をまとめておくこと。	90分
第7回	諸外国の教育 諸外国の教育制度と教育運動を概説し、それらが日本に与えた影響を理解する。	
	【予習】第6章を通読のこと。	90分
	【復習】配布資料の感想をまとめておくこと。	90分
第8回	生涯学習社会における教育の課題 生涯学習について概説し、ライフコースにおける乳幼児期の重要性と、保育者として生涯にわたって学び続ける意義について理解する。	
	【予習】第7章を通読のこと	90分
	【復習】配布資料の感想をまとめておくこと	90分
第9回	接続期の教育 小1プロブレム等の接続期の課題やその背景に基づき、幼稚園教育や保育所保育と小学校教育の円滑な接続の重要性を理解する。	
	【予習】配布資料を通読のこと。	90分
	【復習】講義の感想をまとめておくこと。	90分
第10回	近代における諸外国の就学前教育における様々な実践について理解を深め、日本の就学前教育への影響等を考える。	
	【予習】配布資料を通読のこと。	90分
	【復習】ディスカッションを通して、就学前教育について理解を深める。	90分

第11回	ユニバーサル社会とインクルーシブ教育 ユニバーサル社会における様々な動向と、インクルーシブ教育の背景や意義、特別支援教育の現状等を理解する。	
	【予習】配布資料を通読のこと。	90分
	【復習】配布資料の感想をまとめておくこと。	90分
第12回	教育実践の基礎理論 教育実践のための基本的な理論と内容・方法、計画・評価について、事例等に基づいて理解を深める。	
	【予習】配布資料を通読のこと。	90分
	【復習】ディスカッションの感想をまとめておくこと。	90分
第13回	教育実践の基礎理論 教育実践のための基本的な理論を踏まえて、様々な事例を通して子どもや保護者への支援について理解を深める。	
	【予習】配布資料を通読のこと。	90分
	【復習】ディスカッションの感想をまとめておくこと。	90分
第14回	現代教育の課題 現代における様々な教育課題の中から、関心のあるものを選び、ミニレポートにまとめる。	
	【予習】配布資料を通読のこと。	90分
	【復習】最終レポートの草稿の執筆をおこなうこと。	90分
第15回	現代教育の課題 教育課題のミニレポートにまとめたものを持ち寄ってグループディスカッションを行い、自分の教育観を捉え直すとともに、教育課題への関心を一層高める。	
	【予習】最終レポートの草稿の執筆をおこなうこと。	90分
	【復習】最終レポートの執筆をおこなうこと。	90分

授業科目名	人的資源管理論			科目コード	M112-12				
科目区分	専門科目 - 経済・経営科目 - 経営		担当教員名	山下 裕介					
実務経験									
開講時期	2年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	経営学の基礎 現代企業と社会		後継科目	経営管理論					
関連科目	経済・経営学特講 経営学特講								
資格等 取得との関連									
授業の概要	近年、日本のヒューマンリソース・マネジメント（人的資源管理）は非常に大きな変化を遂げてきており、それは未だ継続されている。そして、その変化は必ずしも我々市民・労働者にとって有利なものであるとは限らない。このような社会情勢の中であっても、変わることなく重要な人的資源管理の原則や理論は存在する。そこで、本講義では、人的資源管理の基礎的な知識を学び、これからのあるべき人事・労務のあり方やその方途について考究していく。								
学習目標	ヒューマンリソース・マネジメントとは、日本語で「人的資源管理」論と訳されるものである。本講義では、この「人的資源管理」論の各種の具体的議論を理論的かつ体系的に学び、さらに現実社会で実際に起きている人事・労務の管理に関する問題も取り上げながら実践的な理解も深めていくことを目指す。最終的には、受講生が「人的資源管理」論に関する各種の基礎的な知識を深め、「企業ないしは企業活動を『市民』として客観的に分析できる力」を身につけることを目標とする。								
キーワード	内部労働市場論 日本的雇用慣行 長期雇用 年功序列								
テキスト・ 参考書等	テキストは使用しません。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解力】 労務管理の現状や課題を理解することができる。								
LO-2	【技能・表現力】 労務管理に関わるトピックについて、事実関係を文章の形でわかりやすくまとめることができる。								
LO-3	【思考・判断力】 労務管理の望ましいあり方という（「唯一の正解」のない）問いに対して、自らの見解を論理的に示すことができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 労務管理に関わるトピックについて、自らの知識や考えを他者と積極的に共有し、議論を深めることができる。								
LO-5									
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	160								160
LO-1	100								100
LO-2	20								20
LO-3	20								20
LO-4	20								20
LO-5									
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 受講者からの質問については適宜、講義中に回答します。その他、テストや課題のフィードバックも同様です。</li> <li>・ ノートテイキングを重視します。必ずノートをとってよく復習しましょう。</li> </ul>								

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	初回ガイダンス (本講義の概要、ルール、成績評価の方法など)	
	【予習】 予めシラバスをよく読み、講義全体の概要把握の予習する。	90分
	【復習】 ノートを読み返して、よく復習する。	90分
第2回	人的資源管理論とは何か？	
	【予習】 前回講義内で指定された内容を予め勉強して、今回の講義の概要把握の予習する。	90分
	【復習】 ノートを読み返して、よく復習する。	90分
第3回	人的資源管理の領域 : 労働力の調達、人事考課、退職	
	【予習】 前回講義内で指定された内容を予め勉強して、今回の講義の概要把握の予習する。	90分
	【復習】 ノートを読み返して、よく復習する。	90分
第4回	人的資源管理の領域 : 賃金管理、労働時間管理、教育訓練	
	【予習】 前回講義内で指定された内容を予め勉強して、今回の講義の概要把握の予習する。	90分
	【復習】 ノートを読み返して、よく復習する。	90分
第5回	人的資源管理と労働市場 : 「内部労働市場論」の考え方	
	【予習】 前回講義内で指定された内容を予め勉強して、今回の講義の概要把握の予習する。	90分
	【復習】 ノートを読み返して、よく復習する。	90分
第6回	人的資源管理と労働市場 : 長期雇用と日本的経営	
	【予習】 前回講義内で指定された内容を予め勉強して、今回の講義の概要把握の予習する。	90分
	【復習】 ノートを読み返して、よく復習する。	90分
第7回	人的資源管理と労働市場 : 年功賃金制度に対する「批判」と、その誤解	
	【予習】 前回講義内で指定された内容を予め勉強して、今回の講義の概要把握の予習する。	90分
	【復習】 ノートを読み返して、よく復習する。	90分
第8回	人的資源管理と労働市場 : 年功賃金の仕組みと「ゼロ利益賃金経路」	
	【予習】 前回講義内で指定された内容を予め勉強して、今回の講義の概要把握の予習する。	90分
	【復習】 ノートを読み返して、よく復習する。	90分
第9回	人的資源管理と労働市場 : 出向・転籍者の雇用と賃金	
	【予習】 前回講義内で指定された内容を予め勉強して、今回の講義の概要把握の予習する。	90分
	【復習】 ノートを読み返して、よく復習する。	90分
第10回	人的資源管理と労働市場 : 非正規雇用労働者の雇用と賃金	
	【予習】 前回講義内で指定された内容を予め勉強して、今回の講義の概要把握の予習する。	90分
	【復習】 ノートを読み返して、よく復習する。	90分

第11回	雇用のポートフォリオ	
	【予習】前回講義内で指定された内容を予め勉強して、今回の講義の概要把握の予習する。	90分
	【復習】ノートを読み返して、よく復習する。	90分
第12回	人的資源管理論の歴史：人的資源管理成立以前と成立以後の展開	
	【予習】前回講義内で指定された内容を予め勉強して、今回の講義の概要把握の予習する。	90分
	【復習】ノートを読み返して、よく復習する。	90分
第13回	人的資源管理論の歴史：日本における労務管理の歴史と「男女雇用機会均等法」	
	【予習】前回講義内で指定された内容を予め勉強して、今回の講義の概要把握の予習する。	90分
	【復習】ノートを読み返して、よく復習する。	90分
第14回	講義全体のまとめ・講評	
	【予習】前回講義内で指定された内容を予め勉強して、今回の講義の概要把握の予習する。	90分
	【復習】ノートを読み返して、よく復習する。	90分
第15回	講義全体のまとめ・講評 (本科目の意義を総括)	
	【予習】前回講義内で指定された内容を予め勉強して、今回の講義の概要把握の予習する。	90分
	【復習】期末試験で十分な結果を出せるように、教科書やノートを読み込み、知識を定着させる。	90分

授業科目名	認知症ケア論			科目コード	W112-31				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - こころとからだのしくみ		担当教員名	井上 理絵 松島 紘子					
実務経験	介護福祉士として勤務した経験と、介護福祉士試験委員、認知症ケア上級専門士としての実績を基に、今後増加する認知症を持つ人々への適切なケア方法の知識と技術をわかりやすく、実践的な視点から授業を解説する。								
開講時期	2年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	医学一般、高齢者・障害者の心理、認知症ケア論、障害者ケア論		後継科目	ターミナルケア論					
関連科目	障害者ケア論								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	パーソンセンタード・ケアに基づきながら、認知症症状が出ている人の理解を深め、非薬物療法を中心に、グループワークやロールプレイを用いながら、事例をとおして対応方法について学んでいきます。また、認知症を支える家族への支援や地域連携について学びます。								
学習目標	認知症に関する基礎的知識を習得するとともに、認知症のある人の体験や意思表示が困難な特性を理解し、本人のみならず家族・地域を含めた周囲の環境にも配慮した介護の視点を習得します。								
キーワード	パーソンセンタードケア、生活環境、地域支援、認知症の人と家族、非薬物療法								
テキスト・ 参考書等	介護福祉士養成講座編集委員会 新・介護福祉士養成講座「認知症の理解」中央法規 日本認知症ケア学会編「改訂認知症ケアの基礎」ワールドプランニング								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	認知症の人の特徴的な心理と行動、認知症の人を支える家族への支援と地域のサポート体制を十分に理解している。								
LO-2	認知症の人の機能の変化と日常生活への影響を知り、一人ひとりの症状に合った対応方法を考えることができる。								
LO-3	中核症状や周辺症状の区別ができ、日常生活に及ぼす影響を知り、対応方法を説明し、行動することが十分できる。								
LO-4	認知症高齢者支援対策として展開されている行政施策を理解し、自分の住む地域のサポート体制の必要性について知識を深めようと積極的に行動することができる。								
LO-5	ロールプレイをとおして、認知症の人や介護者の思いや感情を体験し、適切な具体的な関わり方について十分理解することができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	30	10	20		40				100
LO-1	10	10							20
LO-2	20								20
LO-3			20						20
LO-4					20				20
LO-5					20				20
備考									

## 授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	認知症の人を取り巻く状況 これまで 今 これから	
	【予習】テキストP110～P120までを読む	90分
	【復習】長谷川和夫先生の著書を1冊読む	90分
第2回	認知症ケアの理念と視点	
	【予習】テキストP121～P134までを読んでくる	90分
	【復習】テキストP135演習	90分
第3回	認知症当事者の視点から見えるもの	
	【予習】テキストP136～P151までを読む	120分
	【復習】テキストP152 演習	60分
第4回	パーソン・センタード・ケア	
	【予習】テキストP154～P163まで読む	90分
	【復習】テキストP163 演習	90分
第5回	認知症の人の日常生活における支援 センター方式・ひとときシート	
	【予習】センター方式シート・ひとときシートについて調べる	90分
	【復習】センター方式シート・ひとときシートの活用方法を考えまとめる	90分
第6回	地域との連携 地域におけるサポート体制	
	【予習】地域におけるサポート体制について調べる	90分
	【復習】認知症の人が地域で暮らすために必要な資源やサポート体制について理解を深める	90分
第7回	地域との連携 チームアプローチ	
	【予習】チームアプローチに関わる職種について復習する	90分
	【復習】認知症の人を支える他職種の協働について理解し、その中での介護職の役割について考える	90分
第8回	認知症の人の日常生活における支援 認知症の人への心理的アプローチ(4) 事例：若年性認知症の方への関わり	
	【予習】若年性認知症について復習をする	90分
	【復習】認知機能の変化が及ぼす生活への影響と、その人らしい生活を続けるために必要なことを環境因子を考える。また、若年性任長の人の生活の理解と支援について考えを深める。	90分
第9回	認知症に関する制度と施策	
	【予習】テキストP260～P279まで読んでくる	90分
	【復習】オレンジプラン等の認知症に関する施策、権利擁護、高齢者虐待防止法との関係について理解を深める	90分
第10回	地域との連携 チームアプローチ	
	【予習】チームアプローチに関わる職種について復習する	90分
	【復習】認知症の人を支える他職種の協働について理解し、その中での介護職の役割について考える	90分

第11回	認知症の人とのコミュニケーション 特別講義	
	【予習】テキストP191～P224まで読む	90分
	【復習】本人本位のケアのためのポイントを押さえる	90分
第12回	認知症の人の日常生活における支援 認知症の人への心理的アプローチ(4) 事例：若年性認知症の方への関わり	
	【予習】若年性認知症について復習をする	90分
	【復習】認知機能の変化が及ぼす生活への影響と、その人らしい生活を送るために必要なことを環境因子を考える。また、若年性任長の人の生活の理解と支援について考えを深める。	90分
第13回	認知症の人の日常生活における支援 認知症の人への心理的アプローチ(2) 事例：バリデーション・ユマニチュード・音楽療法	
	【予習】バリデーション・ユマニチュード・音楽療法について調べる	90分
	【復習】バリデーション・ユマニチュード・音楽療法について理解を深める	90分
第14回	認知症の人の日常生活における支援 認知症の人への心理的アプローチ(2) 事例：バリデーション・ユマニチュード・音楽療法	
	【予習】バリデーション・ユマニチュード・音楽療法について調べる	90分
	【復習】バリデーション・ユマニチュード・音楽療法について理解を深める	90分
第15回	認知症の人の日常生活における支援 認知症の人への心理的アプローチ(3) 事例：タクティールケアとスウェーデンの認知症ケア、園芸療法、アニマルセラピー、化粧療法など	
	【予習】タクティールケアについて調べる 園芸療法、アニマルセラピー、化粧療法など、さまざまなアプローチ方法を調べる	90分
	【復習】タクティールケアについて理解を深める 園芸療法、アニマルセラピー、化粧療法など、さまざまなアプローチ方法が概説できる	90分